

(同時発表：京都府政記者クラブ、京都市政記者クラブ、京都経済記者クラブ、関西プレスクラブ)

令和3年11月5日

令和3年度「『CONNECT⇄』 ~つながる・つづく・ひろがる~」 の開催について

文化庁では、令和3年12月2日から12月19日まで、京都国立近代美術館ほかにおいて文化芸術を通して共生社会や多様性について関心を深めることを目的とした展覧会「『CONNECT⇄』 ~つながる・つづく・ひろがる~」を開催いたします。

1. 概要

文化庁では、文化芸術を通して共生社会や多様性について関心を深めていただくことを目的とした展覧会「CONNECT⇄」を、昨年に引き続き京都で開催します。

12月の「障害者週間」にあわせて、京都国立近代美術館ほか京都市岡崎地区の文化施設を中心に、京都市内・京都府内の施設において、スペシャル鼎談の動画配信や、障害のある方が制作した作品の展示、共生社会をテーマとした展示や触覚を活用したワークショップ、手話による施設案内動画の配信など、様々な取組を実施します。

この取組は、文化庁が2016年から4回にわたって国立新美術館で開催してきた「ここから展」を引き継ぎ、2020年から京都で開催している事業で、今回が2回目の開催となります。

2. 会期等

「CONNECT⇄」 ~つながる・つづく・ひろがる~

会 期：令和3年12月2日（木）～12月19日（日）

会 場：

〔京都市岡崎地区〕 京都国立近代美術館（京都市左京区岡崎円勝寺町26-1）、
京都市京セラ美術館、ロームシアター京都、京都市動物園、
京都府立図書館、京都市勧業館みやこめっせ、
kokoka京都市国際交流会館

〔京都市内その他〕 京都文化博物館、京都芸術センター

〔京都府内〕 山城・南丹・中丹・丹後地区会場

入場料：無料

URL：<https://connect-art.jp/>

3. 主催等

主催：文化庁、京都国立近代美術館

共催：京都府、京都市、京都新聞

4. 問合せ先

「CONNECT⇄」事務局

(京都新聞 COM 事業推進局内 担当: 滝山、北岡、西森、山野)

電話 : 075-255-9757, F A X : 075-255-9763

<担当> 文化庁地域文化創生本部 総括・政策研究グループ 川村、南部 〒605-8505 京都市東山区東大路通松原上る三丁目毘沙門町 43-3 電話 : 075-330-6723 (直通) FAX : 075-561-3512
--

障害者週間から始まる、アートを通して共生・多様性について考える 18 日間
令和 3 年度『『CONNECT?_』～つながる・つづく・ひろがる～』開催
岡崎地域に加え、京都文化博物館、京都芸術センターほか府内各地域へ会場が拡大

障害者週間から始まる、アートを通して共生・多様性について考える18日間

CONNECT ⇄

2021 12.2 THU — 19 SUN

京都国立近代美術館、京都市京セラ美術館、京都市動物園、京都府立図書館、
ロームシアター京都、京都市勧業館みやこめっせ、kokoka 京都市国際交流会館、
京都文化博物館、京都芸術センター ほか

令和3年度文化庁委託事業「障害者等による文化芸術活動推進事業」

文化庁・京都国立近代美術館は令和3年12月2日から19日まで、文化芸術を通して共生社会や多様性について関心を深めることを目的とした展覧会『『CONNECT?_』～つながる・つづく・ひろがる～』を開催します。

開催2年目となる本年は、初年度の「障害のあるなしに関わらず、さまざまな感性・特性を持つ人たちが芸術や文化、歴史に気軽にアクセスし、さらに参加した人たちが同士がつながり合い、気づきを与え合う」というコンセプトを引き継ぎ、それを発展させたものとして、「つながる、つづく、ひろがる」をテーマに、場所・時間・背景・個性・感性などのさまざまな“へだたり”や“ちがひ”を越えてつながりあうことを目指し、展示やワークショップなど様々なプログラムを実施します。

<開催概要>

会 期：令和3年12月2日（木）～12月19日（日）

会 場：〔京都市岡崎地区〕京都国立近代美術館、京都市京セラ美術館、ロームシアター京都、京都市動物園、
京都府立図書館、京都市勧業館みやこめっせ、kokoka 京都市国際交流会館

〔京都市内その他〕京都文化博物館、京都芸術センター〔京都府内〕山城・南丹・中丹・丹後地区会場

入場料：無料

URL：https://connect-art.jp/

主催：文化庁、京都国立近代美術館

共催：京都府、京都市、京都新聞

後援：KBS 京都、エフエム京都

特別協力：NHK 京都放送局

<実施プログラム>

2021年12月2日(木)より、公式ウェブサイトにて公開

撮影：前谷 潤

CONNECT 2_ スペシャル鼎談 オンライン

「つながる・つづく・ひろがる」

——生まれかわる美術館、大学、劇場から考える文化と共生——



やなぎみわ



赤松玉女



青木淳

CONNECT 2_では、美術館や劇場などの文化施設やアートの最前線で活躍する方をお招きし、文化芸術を通じた共生社会の実現について共に考えるきっかけとなるようなトークプログラムを行っています。今年度は“生まれかわる美術館、大学、劇場から考える文化と共生”をテーマに、美術作家で舞台演出家のやなぎみわさん、京都市立芸術大学学長で画家の赤松玉女さん、京都市京セラ美術館長で建築家の青木淳さんによる鼎談を収録。字幕付きの動画を公式ウェブサイトにて公開します。

知る人ぞ知る！ 京都岡崎公園の魅力

手話と文字を使って、スタッフとめぐる案内動画 オンライン

岡崎公園内の文化施設の見どころや歴史について、手話・字幕を交えた案内動画を制作しています。昨年公開した京都国立近代美術館、京都市京セラ美術館、京都府立図書館に加え、今年は新たにロームシアター京都、京都市動物園を紹介します。おでかけ前にチェック！



2020年度の鼎談も

公式ウェブサイトでご覧いただけます！

2020年度は、“「共生」の時代における文化施設のあり方について”と題して哲学者の鷲田清一さん、青木淳さん、進行役の柳原正樹さん(前・京都国立近代美術館長)に、それぞれの立場やご経験を踏まえてお話しいただきました。

京都国立近代美術館

身体感覚で楽しむプログラム「竹村京 Floating on the River (フローティング オン ザ リバー)」

会場：1階ロビー

展示：12月2日(木)～2022年1月16日(日) 9:30～17:00(金、土曜は20:00まで、月曜休館)

ワークショップ：12月11日(土) ①10:00～12:30 ②14:00～16:30 (要事前申込)

写真やドローイングの上に刺繍を施したインスタレーションや、壊れた日用品を布で包んで刺繍する「修復シリーズ」を発表するアーティスト竹村京による展示とワークショップを行います。作品にふれることで、縫い留められた誰かの大切なものの記憶に思いを巡らす機会となるでしょう。



竹村京《修復された地球儀の貯金箱》

2000年-現在、作家蔵

ワークショップ「壊れてしまったものと、その記憶をめぐって」では、ひとりひとりの大切な“壊れもの”を持ち寄り、それにまつわる思い出をみなさんと共有し、竹村さんと共に布でくるんで縫い、作品を作ります。定員は各回10名、申し込み締め切りは11月26日(金)。

京都市京セラ美術館

トーク映像展示「実はよく知らないんだよ。だから聞いてみようと思う。(中原)」

会場：1階 光の広間

展示：12月3日(金)～12月9日(木) 10:00～18:00(月曜休館)

自らも「つくること」や「表現すること」に携わってきた美術家・中原浩大が、精神や発達に障害のある人の創作や表現行為の歴史、背景、現在地について、“よく知りたい・少しでも理解を深めたい人”のひとりとして聞き手となり、ゲストとともに考えるトークシリーズ。その記録を、展示公開します。

なかはらこうだい



たずねる人：中原浩大 撮影：福永一夫

京都市勧業館みやこめっせ

第 27 回京都とっておきの芸術祭

会場：地下 1 階 日図デザイン博物館

展示：12 月 2 日（木）～12 月 5 日（日）10:00～17:00

主催：京都障害者芸術祭実行委員会

障害の有無に関わらない交流の場として、京都府民に 1995 年度から親しまれてきた公募展。

「絵画」「陶芸」「写真」「書」「俳句」「川柳」「諸工芸」の 7 部門に出品された障害のある方の作品は 700 点以上。そのすべてを会場で展示します。



令和 2 年度 絵画の部 京都府知事賞
「びわ湖」AKIO

京都市美術館別館

2021 年度 共生の芸術祭「旅にでること、その準備」

会場：1 階第 1 展示室

展示：12 月 9 日（木）～12 月 26 日（日）10:00～18:00（最終日は 16:00 まで、月曜休館）

主催：きょうと障害者文化芸術推進機構

共生社会の実現に向け、文化芸術活動を推進するための芸術展を開催します。8 回目を迎える今年度は「旅」をテーマに京都府内外の障害のある方の表現を幅広いジャンルで紹介します。



松原 日光《軽飛行機》布、糸

京都府立図書館

おどろきの『群書類従』！

会場：2 階ナレッジベース

展示：11 月 30 日（火）～12 月 19 日（日） 9:30～19:00（土、日曜は 17:00 まで、月曜休館）

江戸時代の盲人の学者・塙保己一^{はなわほきいち}。日本の歴史・文化を後世に残すため 666 冊の叢書「群書類従」を 40 年かけて編集・刊行した塙。その業績を「共生」の視点で見直す展示を実施します。また公式ウェブサイト上では、塙保己一史料館の講師によるオンライン講演会も配信します。



「群書類従」版木 ©大塚敬太+稲口俊太

Kokoka 京都市国際交流会館

障害者スポーツ関連展示 ～京都からパリ 2024 パラリンピックへとつながる～

会場：2 階 姉妹都市コーナー・展示室

展示：12 月 14 日（火）～12 月 19 日（日）11:00～18:00（初日 12:00 から、最終日 16:00 まで）

東京都のパラスポーツ応援プロジェクト「TEAM BEYOND」が製作した人気漫画家によるパネルや関連資料をはじめ、競技用具等を展示します。



©熊沢 良

©村上 隆之

ロームシアター京都

ドキュメンタリー映像上映&トーク+ダンサーによるワークショップ（要事前申込）

会場：地下2階ノースホール

12月4日（土）13:00～15:00 今村彩子監督作品「友達やめた。」上映&トーク

15:15～16:15 セレノグラフィカ〈ダンスデュオ〉によるワークショップ

12月5日（日）13:00～15:30 坪田義史監督作品「だってしょうがないじゃない」上映&トーク

15:45～16:45 岩下徹〈即興ダンス〉によるワークショップ

それぞれのアプローチで発達障害を扱ったドキュメンタリー映像2作品の上映と監督を迎えたトークを行います。上映後には、ダンサーを講師にしたワークショップ（人数限定）も実施します。映像上映・トークの定員は各回60名、ワークショップは各回20名、申し込み締め切りは11月26日（金）。



京都市動物園

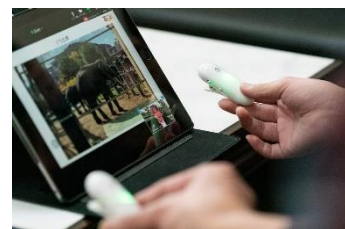
Ontennaで感じる、動物たちのこえ・いろ・かたち 2021

ワークショップ：12月4日（土）、5日（日）13:30～15:00（要事前申込）

パネル展示：11月30日（火）～12月19日（日）京都市動物園 図書館カフェ2階 9:30～16:00（月曜休園）

動物の鳴き声を振動と光で感じることができる Ontenna（オンテナ）を使ったワークショップを開催します。園長と一緒に園内ツアーで、動物の鳴き声を感じてください。定員各回10名、申し込み締め切りは11月26日（金）。

また図書館カフェの2階では Ontenna の取り組みを紹介するパネル展示も実施します。



昨年度の Ontenna を使ったワークショップの様子

京都文化博物館

アニメ映画を一緒に楽しもう - ユニバーサル上映（要事前申込）

会場：3階フィルムシアター

上映会：12月4日（土）13:30～／17:00～『どんぐりの家』

上映会：12月5日（日）13:30～／17:00～『聲の形』

聴覚障害を持った少女の生を描いた『聲の形』（2016年）と聴覚障害の子を持つ家族の苦闘と希望を描いた『どんぐりの家』（1997年）を聴覚障害者と一緒に鑑賞できる日本語字幕付きのユニバーサル形式で上映します。応募者多数の場合は抽選、申し込み締め切りは11月26日（金）。



「聲の形」・大今良時・講談社／映画聲の形政策委員会

京都芸術センター

ワークショップシリーズ「ひろがる世界」 (要事前申込)

12月2日(木) 17:30～、3日(金) 17:30～、5日(日) 14:00～ (各日3時間、3日間連続のワークショップ)

「Chorós」講師：ガブリエ・バロンタン 対象：高校生以上

12月14日(火)、15日(水) 18:30～20:30 (2日間連続のワークショップ)

「音でつくる映像」講師：ジダーノワ・アリーナ

多くの制限があるこの時期、自分の感覚を広げるような体験をしてみましょう。外国にルーツを持つアーティストを講師に、世界とわたしたちの間の多様な関係性を感じるワークショップを開催します。申し込みは先着順で定員に到達次第受付終了します。



ガブリエ・バロンタン イメージ写真

府域展開事業 CONNECT-EXPAND

京都府在住あるいは活動拠点を府内に置く障害のある人たちの作品を、山城、南丹、中丹、丹後の4会場にて展示します。 **主催：京都府**

山城会場(宇治市) 12月1日(水)～6日(月)

中宇治 BASE、中宇治 yorin、大阪屋マーケット、宇治橋通集会所

南丹会場(亀岡市) 12月3日(金)～10日(金) サンガスタジアム by KYOCERA

中丹会場(綾部市) 12月10日(金)～15日(水) グンゼ博物苑

丹後会場(宮津市) 12月14日(火)～19日(日) 宮津シーサイドマート ミップル 浜町ギャラリー

※開場時間はすべて10:00～17:00

ミュージアムショップめぐり

CONNECT₂の会期中、京都市京セラ美術館「ART RECTANGLE KYOTO 京都」、京都国立近代美術館「アールプリュ」、京都市勧業館みやこめっせ「京都伝統産業ミュージアムショップ」の各ミュージアムショップで、障害のある方が制作に携わった製品、グッズを販売します。



お問い合わせ 事業詳細及び広報用画像、取材依頼は事務局へお問い合わせください

「CONNECT₂」事務局(京都新聞 COM)

〒604-8567 京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都新聞 COM 事業推進局開発推進部内

TEL: 075-255-9757

FAX: 075-255-9763

Mail: connect-art@mb.kyoto-np.cp.jp

担当: 滝山、北岡、西森、山野